



2020年11月11日

各 位

上場会社名 株式会社 地域新聞社  
代表者名 代表取締役社長 山田 旬  
(コード 2164)  
問合せ先 取締役管理本部本部長  
松川 真士  
(TEL. 047-420-0303)

## 新中期経営計画の公表延期について

当社は、2021年8月期～2023年8月期に係る新中期経営計画の公表を延期することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 1. 新中期経営計画の公表延期について

2020年8月期決算につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響を大きく受けることとなりました。特に緊急事態宣言を受けての営業自粛による広告出稿減少の影響は大きく、4月～5月の「新聞等発行事業」の売上高は142,949千円(前年同期比52.1%)、「折込チラシ配布事業」の売上高は115,936千円(前年同期比44.2%)と前年同期実績を大きく下回りました。緊急事態宣言解除後は、徐々に企業の販促需要が回復してきており、6月～8月の「新聞等発行事業」の売上高は322,609千円(前年同期比78.0%)、「折込チラシ配布事業」の売上高は262,891千円(前年同期比68.9%)まで戻っております。しかしながら、単月での業績回復率は不安定な状態が続いており、イベント実施基準の緩和等、業績回復に良い材料も出ておりますが、足元の感染状況は終息には至っていないため、業績の回復速度は現時点で不透明であると判断しております。

また、カルチャー事業につきましては、感染症対策を施し講座を再開、チケット販売代理事業・主催公演事業につきましてはWEB配信のコンテンツの作成を開始する等の対策をとって回復を目指しておりますが、定着には一定の期間を要するものと考えております。

2019年10月18日に公表しました中期経営計画において重点課題としておりました施策の進捗状況は以下のとおりとなっております。

#### ①ノンコア事業への投資拡大

ノンコア事業であるWEB事業、成果報酬事業、行政関連販促支援等の拡大のため人員補充等の投資を実行し、成果報酬事業におきましては対象ジャンルを7ジャンルまで拡大し、売上高は前期比236%増となりました。WEB事業、行政関連支援等におきましては新型コロナウイルス感染拡大による影響を受け、想定の実績には至っていませんが、2020年10月に地域コミュニティサイト「チイコミ」のリニューアルを行う等の施策を実行し、売上げの拡大を目指しております。

#### ②ショッパー社の早期黒字化

ショッパー社の早期黒字化におきましては、特に成長を見込んでおりましたチケット販売代理事業、主催公演事業が新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受け、売上げを伸ばすに至りませんでした。エリアのセグメントについては、ニーズを見据えて見直しを行い、不採算となっております埼玉県発行エリアを2020年8月に休刊とし、業績の立て直しを計っております。

#### ③事業構成比の転換

事業構成比につきましては、主力事業である新聞等発行事業の市場規模が縮小していくことが予想されることから、主力事業の成長を図りながら、全売上高に占めるノンコア事業のシェアを中長期的に15%まで伸ばすこと

を目指しております。全売上高に占めるノンコア事業のシェアは2019年8月期の12.9%から2020年8月期は13.8%となっております。

#### ④生産性の向上

2019年8月期より本格稼働しているRPA等の活用範囲を拡大することにより生産性の向上を目指しており、2020年8月期につきましては、折込チラシ配布事業の受注フローにおいてRPAを活用することによる業務時間の大幅な短縮を実現することができました。

以上のことから、2020年10月14日に公表しました2021年8月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響を合理的に算定することが困難であることから、未定とさせていただいているところ、2021年8月期～2023年8月期に係る新中期経営計画につきましても、現段階における新型コロナウイルス感染症による影響を合理的に算定することが困難であることから、公表を延期させていただきます。

## 2. 今後の見通し

今後、当社における新型コロナウイルス感染拡大による事業への影響度合いを推定できる状況となり、2021年8月期の業績予想について適正かつ合理的な算出が可能になりましたら、速やかに開示いたします。

また、上記確認が取れ、新中期経営計画が確定でき次第、速やかに公表いたします。株主、投資家をはじめとする、関係者の皆さまには御迷惑をお掛けいたしますが、何とぞ御理解賜りますようお願い申し上げます。

以 上